

重点目標9 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる

地域社会は子どもが生活し成長する場として重要な役割を担っています。
 また、周囲からの愛情や信頼、期待などに包み込まれているという感覚をはぐくみ、安心や自信、誇りや責任感を持つことができる大切な場でもあります。
 そのため、地域のつながりや人材、自然、伝統や文化など京都が持つ様々な力を活用しながら、学校支援活動をはじめ、子どもの自然体験活動やスポーツ活動等を充実させることにより、地域全体で子どもを包み込みはぐくんでいく環境づくりを推進します。

■主要な施策の方向性

- (35) 子どもの活動の場の充実
- (36) 学校を支援する活動の充実
- (37) 子どもの健全育成のための環境づくり

■主な目標指標

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績
地域の特色を活かした子どもの活動の場の数	69箇所 (H26年度)	100箇所	79箇所	83箇所	86箇所
地域住民及び企業やNPO等と連携して学校支援活動が行われている学校の割合	小:86.7% 中:81.9% (H26年度)	100%	小:91.4% 中:81.9%	小:91.4% 中:75.0%	小:95.6% 中:73.9%
知っている人に会った時にあいさつをする子どもの割合 (「知っている人に会ったときは、あいさつをしている」という質問に対し「当てはまる」と回答した児童生徒の割合)	小4:61.6% 中1:62.4% 中2:58.5% (H27年度)	増加させる	小4:62.1% 中1:62.1% 中2:59.6%	小4:62.8% 中1:61.8% 中2:59.4%	小4:62.1% 中1:61.4% 中2:57.8%
地域の行事に参加している子どもの割合 (「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問に対し「当てはまる」と回答した児童生徒の割合)	小6:39.1% 中3:18.0% (H27年度)	増加させる	小6:41.5% 中3:17.3%	小6:36.0% 中3:15.0%	小6:36.7% 中3:16.4%

■主な取組実績

取 組 名	京のまなび教室推進事業（子どものための地域連携事業）																																		
取 組 実 績	<p>○放課後等における子どもの体験活動・学習活動・異世代交流等の一層の充実を図るため、学校や社会教育施設等を子どもたちの安心・安全な居場所として活用する「京のまなび教室」の開設を支援</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町(組合)教委</td> <td>18教委</td> <td>18教委</td> <td>17教委</td> </tr> <tr> <td>教室</td> <td>79教室</td> <td>83教室</td> <td>86教室</td> </tr> </tbody> </table> <p>○市町(組合)教育委員会が実施する「京のまなび教室」等に、企業や伝統産業の職人等の「特別講師」の派遣をコーディネート</p> <p>▶派遣状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣先</td> <td>14教委 29教室等</td> <td>12教委 36教室等</td> <td>13教委 26教室等</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>40回</td> <td>47回</td> <td>40回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○事業関係者の資質の向上や情報交換等を図るため、指導者等研修を実施</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>10回</td> <td>11回</td> <td>12回</td> </tr> </tbody> </table>				28年度	29年度	30年度	市町(組合)教委	18教委	18教委	17教委	教室	79教室	83教室	86教室		28年度	29年度	30年度	派遣先	14教委 29教室等	12教委 36教室等	13教委 26教室等	回数	40回	47回	40回		28年度	29年度	30年度	回数	10回	11回	12回
	28年度	29年度	30年度																																
市町(組合)教委	18教委	18教委	17教委																																
教室	79教室	83教室	86教室																																
	28年度	29年度	30年度																																
派遣先	14教委 29教室等	12教委 36教室等	13教委 26教室等																																
回数	40回	47回	40回																																
	28年度	29年度	30年度																																
回数	10回	11回	12回																																
担 当 課	社会教育課																																		

取 組 名	地域学校協働活動推進事業（子どものための地域連携事業）																		
取 組 実 績	<p>○地域の住民・団体等の協力を得て、子どもたちの学びや成長を支えとともに地域と学校が連携・協働して行う様々な活動を実施</p> <p>▶設置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町(組合)教委</td> <td>14市町</td> <td>14市町</td> <td>14市町</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>35本部</td> <td>37本部</td> <td>59本部</td> </tr> <tr> <td>対象校</td> <td>119校(園)</td> <td>122校(園)</td> <td>138校(園)</td> </tr> </tbody> </table>				28年度	29年度	30年度	市町(組合)教委	14市町	14市町	14市町	本部	35本部	37本部	59本部	対象校	119校(園)	122校(園)	138校(園)
	28年度	29年度	30年度																
市町(組合)教委	14市町	14市町	14市町																
本部	35本部	37本部	59本部																
対象校	119校(園)	122校(園)	138校(園)																
担 当 課	社会教育課																		

取 組 名	いじめ・非行防止キャンペーン										
取 組 実 績	<p>○府内各公立中学校PTA（京都市立及び府立除く）が関係団体と連携し、「いじめ・非行防止キャンペーン」と表記した横断幕やのぼり等を活用した地域ぐるみの声かけ（あいさつ）・見守り運動を実施</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>93校</td> <td>92校</td> <td>92校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○各教育局において、地域の関係団体と連携し非行防止を進める機運の醸成を図るため、非行防止フォーラムを開催</p>				28年度	29年度	30年度		93校	92校	92校
	28年度	29年度	30年度								
	93校	92校	92校								
担 当 課	社会教育課										

取組名	土曜日を活用した教育																																
取組実績	<p>○土曜日における学校、家庭、地域社会が連携した多様で魅力的な教育活動の実現にむけ、実践研究校を指定</p> <p>▶指定状況</p> <table border="1" data-bbox="475 315 1066 450"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町(組合)教委</td> <td>16市町</td> <td>16市町</td> <td>13市町</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>9校</td> <td>9校</td> <td>8校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>10校</td> <td>10校</td> <td>7校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○土曜日の教育支援体制等構築事業 土曜日等の教育支援に取り組む体制の構築を図るため、多様な経験や技能を持つ地域の人材や企業等の協力により、体系的・継続的な教育プログラムを実施</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1" data-bbox="475 607 1066 741"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町(組合)教委</td> <td>5教委</td> <td>5教委</td> <td>5教委</td> </tr> <tr> <td>箇所数</td> <td>7箇所</td> <td>8箇所</td> <td>8箇所</td> </tr> <tr> <td>対象校</td> <td>37校(園)</td> <td>38校(園)</td> <td>39校(園)</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	30年度	市町(組合)教委	16市町	16市町	13市町	小学校	9校	9校	8校	中学校	10校	10校	7校		28年度	29年度	30年度	市町(組合)教委	5教委	5教委	5教委	箇所数	7箇所	8箇所	8箇所	対象校	37校(園)	38校(園)	39校(園)
	28年度	29年度	30年度																														
市町(組合)教委	16市町	16市町	13市町																														
小学校	9校	9校	8校																														
中学校	10校	10校	7校																														
	28年度	29年度	30年度																														
市町(組合)教委	5教委	5教委	5教委																														
箇所数	7箇所	8箇所	8箇所																														
対象校	37校(園)	38校(園)	39校(園)																														
担当課	学校教育課・社会教育課																																

取組の成果と課題

【成 果】

- 京のまなび教室推進事業では、放課後等に地域のコーディネーターやボランティアの方々によって茶道教室や凧づくりなど様々な体験活動や学習活動が実施された。また、特別講師派遣事業は本物が体験できる機会と捉えられ毎年度安定的に活用されている。
- 地域学校協働活動の対象校は年々増加しており、住民と子どもとの交流が進んで校外での挨拶や会話が増えたり、住民同士のつながりが生まれたりするなど、地域の教育力の向上や活性化につながっている。
- 声かけ（あいさつ）・見守り運動は、中学校PTAの活動にとどまらず、小学校PTAや警察、地域の住民・団体等との連携や保護者等への啓発活動を行ったことにより、地域全体で子どもを見守る活動として広がりを見せている。

【課 題】

- コーディネーターの資質向上やボランティア等の確保に引き続き取り組む必要がある。
- 地域学校協働活動の理念の普及啓発を進め、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動を推進し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える取組の充実をさらに進める必要がある。

京都府教育行政点検評価会議での意見

- コミュニティ・スクールと地域学校協働本部は車の両輪であり、導入が進んでいない市町に理念の普及啓発を進め、地域と学校が連携・協働して上手く地域とのつながりができていけば良いのではないかと。
- へき地校対策としても地域と連携をしていくことが重要だが、連携が上手くいっていないところもあるのではないかと。小規模校がある地域ではさらに地域と学校の連携が進むと良いのではないかと。
- 他府県事例だが、閉校となった小学校で一般の方を対象にした行事等を行っているところがある。土日のみの開館であるが、全て地域の方などのボランティアで運営されており、地域とのつながりという点でとても良い取組である。「地域住民との協働による生涯学習」という点で、京都府としても参考にできるのではないかと。

重点目標10 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる

変化する社会に柔軟かつ的確に対応し、豊かで生きがいのある人生を力強く歩み続けるためには、いつでもどこでも多様な方法で学習でき、生涯にわたって自ら学び自らを高めることができる生涯学習社会を実現することが大切です。

そのため、京都府内の各地域の特性を活かした多様な学習機会の提供、現代的課題の解決につながる学習活動の支援、生涯にわたって文化活動やスポーツ活動に親しむことのできる環境の充実を、社会教育関係団体などと連携・協力しながら推進します。

■主要な施策の方向性

- (38) 生涯学習環境の充実
- (39) 生涯スポーツ環境の充実
- (40) 生涯学習施設などを活用した学習活動の充実

■主な目標指標

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績
文化財講座等の参加者数（年間）	7,918人 (H23～26年度平均)	8,000人	10,085人	13,555人	12,126人
週1回以上運動やスポーツを行う成人の割合	53.6% (H24年度)	増加させる	-	48.7%	-
※30年度調査なし					
府立図書館の本の貸出冊数	247,284冊 (H26年度)	270,000冊	245,895冊	245,860冊	249,350冊

■主な取組実績

取組名	京都府社会教育・生涯学習・公民館等指導者研修会										
取組実績	<p>○生涯学習社会の実現に向けて府内の社会教育をより一層推進するため、社会教育・生涯学習関係職員の資質の向上と専門的力量を高めることを目的とした研修会を開催</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>106名</td> <td>115名</td> <td>99名</td> </tr> </tbody> </table>				28年度	29年度	30年度	参加者数	106名	115名	99名
	28年度	29年度	30年度								
参加者数	106名	115名	99名								
担当課	社会教育課										

取組名	京都府版マスタース大会開催事業														
取組実績	<p>○高齢化社会を踏まえた健康対策、生涯スポーツ推進の観点からより多くの成年・中高年の健康増進に寄与するとともに、関西版マスタース大会やワールドマスタースゲームズ2021関西に向けた機運の醸成を図るため、京都府版マスタース大会を開催</p> <p>▶実施状況</p> <p>京都府民総合体育大会にマスタース部門を設置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種目数</td> <td>22種目</td> <td>23種目</td> <td>23種目</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>12,368名</td> <td>12,471名</td> <td>12,664名</td> </tr> </tbody> </table>				28年度	29年度	30年度	種目数	22種目	23種目	23種目	参加者数	12,368名	12,471名	12,664名
	28年度	29年度	30年度												
種目数	22種目	23種目	23種目												
参加者数	12,368名	12,471名	12,664名												
担当課	保健体育課														

取組名	府立図書館における府民の知的活動の支援																											
取組実績	<p>○約130万冊の蔵書やデータベースを揃え、府民の調査研究に役立つ資料や情報を提供</p> <p>○府内全域に均質な図書館サービスを提供するため、府内の公立図書館等の蔵書を一括で検索できる「京都府図書館総合目録」を構築するとともに、全市町村を週に2回巡回して図書を搬送する「連絡協力車」を運行</p> <p>▶府内図書館等への貸出実績</p> <table border="1" data-bbox="475 421 1441 618"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府内市町村立図書館等 (相互貸借)</td> <td>19,178冊</td> <td>21,700冊</td> <td>22,779冊</td> </tr> <tr> <td>府内学校図書館等 (支援セット・機関貸出)</td> <td>21,534冊</td> <td>22,993冊</td> <td>24,962冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数計</td> <td>40,712冊</td> <td>44,693冊</td> <td>47,741冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成29年度から試行実施していた京都市図書館との相互返却サービス（府立図書館で借りた本を京都市図書館、京都市図書館で借りた本を府立図書館で返却できる制度）を平成30年11月から京都市図書館との「返却本お預かりサービス」として本格実施</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1" data-bbox="475 808 1441 943"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29.11～H30.10 試行（月平均）</th> <th>H30.11～H31.3 本格実施（月平均）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都市の本（資料）を府立で返却</td> <td>156冊</td> <td>176冊</td> </tr> <tr> <td>府立の本（資料）を京都市で返却</td> <td>435冊</td> <td>591冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>○府民の課題解決の拠点となるため、公的機関、大学、NPO等との連携・協働を推進</p> <p>▶取組状況：30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府内の大学の図書館と連携した相互貸借サービスを拡大（6→9大学） →大学が所蔵する専門的な図書を府民が地元の図書館で閲覧可能に ・大学教授等、府内の研究者による府民向け連続講座を充実（6回→8回） ・健康福祉部、有斐斎弘道館、京都コンサートホール等とも連携した参加型講座として図書館活用講座を土日祝に開催（14回） 				28年度	29年度	30年度	府内市町村立図書館等 (相互貸借)	19,178冊	21,700冊	22,779冊	府内学校図書館等 (支援セット・機関貸出)	21,534冊	22,993冊	24,962冊	貸出冊数計	40,712冊	44,693冊	47,741冊		H29.11～H30.10 試行（月平均）	H30.11～H31.3 本格実施（月平均）	京都市の本（資料）を府立で返却	156冊	176冊	府立の本（資料）を京都市で返却	435冊	591冊
	28年度	29年度	30年度																									
府内市町村立図書館等 (相互貸借)	19,178冊	21,700冊	22,779冊																									
府内学校図書館等 (支援セット・機関貸出)	21,534冊	22,993冊	24,962冊																									
貸出冊数計	40,712冊	44,693冊	47,741冊																									
	H29.11～H30.10 試行（月平均）	H30.11～H31.3 本格実施（月平均）																										
京都市の本（資料）を府立で返却	156冊	176冊																										
府立の本（資料）を京都市で返却	435冊	591冊																										
担当課	社会教育課																											

取組の成果と課題

【成 果】

- マスターズ種目及び種目別交流種目数の拡大により、成年・中高年がスポーツに親しむ機会を提供できた。
- 府立図書館では、図書資料の充実や相互貸借で連携する大学の拡充により、府内のどこに住んでいても地元の図書館等で高度な図書館サービスを楽しむことができるよう取り組んでいる。
- 府立図書館が、情報の拠点としての強みを活かして、大学や公的機関、関係機関との連携を積極的に進めることにより、府民への多面的なサポートにつながっている。

【課 題】

- ワールドマスターズゲームズ2021関西に向け、更に周知・広報の必要がある。
- 府立図書館は、図書資料の更なる充実や連携する大学の拡充などにより、府民の調査研究のニーズに応える必要がある。
- 府立図書館は、大学や公的機関、関係団体と連携し、府民の知的活動の支援につながる取組を一層推進する必要がある。

京都府教育行政点検評価会議での意見

- 生きがいのある人生を送る上で、様々な学習や諸活動を通じて、自らを高め、自らの心を豊かにするためにも、生涯学習は大切である。
- 各市町においても生涯学習の機会の提供だけでなく、その成果をどこで活かすか学びのフィードバックが課題であり、例えば、地域学校協働活動に協力してもらうなどの手法が考えられる。

「京都府教育振興プラン」に基づく取組一覧

第3章の取組の中には、1から10までの重点目標のうち複数に関連する取組があります。

下表では、「取組名」と「関連する重点目標」を一覧に取りまとめ、取組実績を記載した重点目標に「★」、関連する項目に「●」を付けています。

例えば「子どものための京都式少人数教育」は重点目標1と7に関連しますが、重複を避けるため、取組実績は特に関連が深い重点目標1にのみ記載しています。

取組名	重点目標（★：取組実績記載、●：関連項目）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
子どものための京都式少人数教育	★						●			
京都式「学力向上学習システム」の構築 （効果の上がる学力対策事業）	★									
中1振り返り集中学習「ふりスタ」 （効果の上がる学力対策事業）	★									
中2学力アップ集中講座 （効果の上がる学力対策事業）	★									
学力向上システム開発校 （効果の上がる学力対策事業）	★			●			●			
小・中学校学力診断テストの実施 （効果の上がる学力対策事業）	★									
中学生読解力向上対策 （効果の上がる学力対策事業）	★									
理科教育推進事業 （効果の上がる学力対策事業）	★						●			
大学の先生に学ぼう体験事業 （効果の上がる学力対策事業）	★			●	●	●	●			
府立高校実力テストの実施 （確かな学力を身に付けるための支援事業）	★									
高校生学習チャレンジサポート事業 （夢に応えられる府立高校づくり事業）	★									
新しい学びのスタイル実践研究【新規】	★									
京都数学グランプリ、京都科学グランプリ （夢に応えられる府立高校づくり事業）	★			●	●					
道徳教育の推進		★								
豊かな心を育てる読書活動の推進 （豊かな心を育てる教育推進事業）		★							●	
読書活動推進事業		★				●				●
高校生「京の文化力」推進事業		★			●		●		●	
高校生伝統文化事業		★			●					
文化財対策事業		★								●

取組名	重点目標 (★：取組実績記載、●：関連項目)									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
京の子ども体力・運動能力向上推進事業			★							
京都式「部活動サポート」事業【一部新規】			★				●		●	
薬物乱用ゼロ推進事業			★					●		
食育の推進			★							
夢に応えられる府立高校づくり事業	●			★	●					
人権教育の推進				★						
特別支援教育サポート拠点事業 (特別支援教育総合推進事業)				★			●			
特別支援教育充実事業				★			●			
府立高校特別支援教育支援員配置事業				★			●			
府立高校における特別支援教育の充実 (特別支援教育総合推進事業)				★		●				
地域等連携推進事業 (特別支援教育総合推進事業)				★			●			
羽ばたけ就労支援事業				★			●			
特別支援学校職業教育等充実事業				★			●			
学びと育ちを支える保幼小等連携推進事業 (効果の上がる学力対策事業)				★			●			
KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業 (豊かな心を育てる教育推進事業)		●		★	●				●	
わたしの未来づくり支援事業 (明日の京都を担う高校生育成支援事業)				★						
京のアスリート育成・強化総合推進事業【一部新規】			●	★						
京都府母校応援ふるさと事業【新規】	●	●		★	●	●				
主権者としての高校生育成支援事業 (明日の京都を担う高校生育成支援事業)					★					
子どもと社会を結ぶまなびづくり協議会(結ネット KYOTO)		●			★					
環境教育の推進					★		●			
情報教育の推進	●				★		●			
英語によるコミュニケーション能力の育成強化【新規】 (京都グローバル人づくり事業)					★		●			
英語教育人材育成強化事業 (京都グローバル人づくり事業)					★		●			

取組名	重点目標 (★：取組実績記載、●：関連項目)									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
府立高校生グローバルチャレンジ事業 (京都グローバル人づくり事業)					★		●			
府立高校「海外サテライト校」事業 (京都グローバル人づくり事業)					★		●			
府立高校生グローバル文化カフェ事業 (京都グローバル人づくり事業)		●			★					
府立高校生夢チャレンジ留学支援事業【新規】					★		●			
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業						★				●
学校安全教育の推進						★				●
いじめ防止・不登校支援等総合推進事業【一部新規】				●		★		●		
少年非行対策				●		★				
生徒指導緊急指導教員の配置						★	●			
体罰事象への対応				●		★				
子どもの学習・生活支援プラットフォーム事業 (京都式「学力向上教育サポーター」事業)	●					★	●	●		
京都式「効果のある学校」推進事業 (京都式「学力向上教育サポーター」事業)	●					★	●			●
小学生個別補充学習(ジュニア・わくわくスタ) (効果の上がる学力対策事業)	●					★				
地域未来塾開設支援事業 (子どものための地域連携事業)	●					★				●
府立高校「セカンドラーニング教室」設置事業 (確かな学力を身につけるための支援事業)	●					★				
高校生等修学支援事業						★				
府立学校施設整備事業【一部新規】				●		★				
府立学校災害復旧事業【新規】				●		★				
今後の府立高校の在り方・高校制度改革【一部新規】				●			★			
教職員の働き方改革推進事業【一部新規】							★			
「教師力向上」地元パワー活用事業							★			
教職員の資質能力向上等							★			
集まれ未来の教員サポート事業							★			
京都府公立学校教員採用選考試験の改善							★			
開かれた学校づくりの推進							★			●

取組名	重点目標（★：取組実績記載、●：関連項目）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
家庭教育資料の作成								★		
家庭教育支援基盤形成事業（家庭教育支援事業）								★		
訪問型家庭教育支援事業								★		
家庭教育カウンセラー巡回相談事業 （いじめ防止対策等推進事業）								★		
京のまなび教室推進事業 （子どものための地域連携事業）		●	●				●		★	●
地域学校協働活動推進事業 （子どものための地域連携事業）		●		●	●		●		★	●
いじめ・非行防止キャンペーン						●		●	★	
土曜日を活用した教育	●						●		★	
京都府社会教育・生涯学習・公民館等指導者研修会										★
京都府版マスタース大会開催事業				●						★
府立図書館における府民の知的活動の支援	●	●					●			★

第4章 総評

▶京都府教育行政点検評価会議委員の総評

- 京都府の教育に関しては、概ね良好と評価することができる。
- 京都府の教育行政について、「京都府教育振興プラン」に基づき、質の高い学力やグローバル人材育成に向けた取組、いじめや不登校対策の充実、教職員の研修の充実をはじめとした、これまでの取組の成果が見られており、総じて概ね良好と評価する。
- 次年度に向けて2点お願いしたい点がある。
 - ①各課で行っている事業を各課がそれぞれに振り返った上で、この点検・評価の成果と課題として集約することが望ましい。
 - ②予算に基づき事業を実施しているので、どれくらいの予算をかけて事業をしているのか分かるようにすることが望ましい。

▶京都府教育委員会の総評

- これからの複雑で予測困難な社会を前向きに生きていくためには、子どもたち一人一人が仮説と検証を基にした論理的な思考ができて、他者の意見を尊重しながら自分の意見をはっきりと主張できるような教育を推進していく必要がある。
- 急速に進展している情報化社会の中でICTを活用した取組はどの分野でも必須であり、ICT機器の整備を始めICTを活用した新しい教育をさらに推進していく必要がある。
- 全国学力学習状況調査の全国平均正答率が1/2以下の子どもの割合が前年度から増加しており、日々の学習における基礎基本の徹底をさらに進めて、基礎学力の底上げをしていく必要がある。
- 特別支援教育へのニーズがますます高まっている中、一人一人に合ったきめ細かな支援や個々の能力に応じた指導が大切である。今後は、現在取り組まれている地域に密着した活動や近隣の企業と連携の強化、就労意欲を高めるための職業教育のさらなる充実等、子どもたちの可能性を最大限に引き出す教育を積極的に進めていく必要がある。

- 子どもが持つ様々な個性や能力に気づき伸ばす教育と両輪で、キャリア教育・職業教育として、地域の企業や研究機関等と連携し、地域産業の担い手育成や、進路について主体的で具体的な展望を持たせる取組が必要である。

- 海外留学は新しい自分を発見することができる非常に良い機会であり、経済的に困難な状況にある生徒も含めて今後も支援を継続していく必要がある。

- いじめの未然防止、早期発見、早期解消には、スクールカウンセラー等の専門家の協力が不可欠であり、引き続き配置を拡充する必要がある。
また、不登校の子どもが将来ひきこもりにならずに社会的に自立できるよう、教育関係者と福祉関係者との関係構築を進め、在学時からの適切な支援と卒業後の継続した支援を行う必要がある。

- 教員の多忙化を解消し、子どもと向き合う時間を十分に取ることでより充実した教育を実践するためにも、残業時間の削減の目標を定め、教員の事務負担の軽減、地域の方々との協働、外部人材の活用等働き方改革について実効性のある取組を一丸となって進めていく必要がある。

- コミュニティ・スクールや地域学校協働活動など、学校・家庭・地域が一体となって教育を推進していくことは、子どもの豊かな学びだけでなく、教員の働き方改革や地域活性化にもつながっていく。市町（組合）教育委員会の理解も得ながら、拡充していく必要がある。

